

# 教 師 ノ ー ト

|                            |             |
|----------------------------|-------------|
| 日付                         | 2019年 5月19日 |
| 単元                         | 創世記・1       |
| テーマ                        | 自由意志と誘惑     |
| タイトル                       | 人間と罪・1      |
| テキスト                       | 創世記 3:1-7   |
| 参照箇所                       | ヨハネ 14:14   |
| 暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい) | 創世記 2:7     |

AG 日曜学校教案参照箇所  
小下 2 巻 1 題 3 課、小上 3 巻 3 題 2 課、中 2 巻 1 題 1 課、中 3 巻 4 題 5 課

**□導入**  
興味を起こす質問をしましょう

例:「ウソについてはいけません」、「意地悪をしてはいけません」と何度も教えられて、「もう絶対しない!」と決心したつもりが・・・、「ちょっとくらいイイかあ～」とすぐに心が揺れてしまうことはありませんか? そんな時、あなたの心の中で、何が起こっているのでしょうか?

☞このアウトラインは「人間と罪・1」として、自由意志と誘惑をテーマにしています。子どもたちが巧妙にわたしたちの「考え」に入り込む誘惑の性質を知り、彼らがみことばの力によってそれに負けない心を持って欲しいと願います。罪の結果とイエスさまの救いの必要性については、次回「人間と罪・2」において語られます。今回は、サタンの誘惑に惑わされるとき、神のことばを思い出して、誘惑に打ち勝てるように励ましましょう(適用)。また、神は、神を愛して従うことを自分から選択するを喜ばれることを強調しましょう。

**□ポイント1 神さまは人間にひとつだけ命令を与えました**  
2章に戻って、エデンの園と善悪の知識の木について説明しましょう。エデンの園は、水の恵み豊かな、美しい木々の生い茂る土地、幸せな楽園です。アダムはエバが造られる前から、エデンの園に置かれ、「あなたは、園のどの木からでも思いのまま食べてよい。しかし、善悪の知識の木からは取って食べてはならない。それを取って食べるその時、あなたは必ず死ぬ。」と命令されていました。

善悪の知識の木の実は毒がなくて死に至らしめるとか、知恵を与える不思議な力あるのではありません。善悪の判断は、神がなさることです。人間の真の「善悪の知識」とは、神のみことばに聞き従うことです。逆に、神の命令に違反して、この実を食べるということは、人が神に代って自分で勝手に善悪の判断をする「自己中心」の生き方に転向してしまうことを意味しました。

他のことは自由でしたが、善悪の知識の木から取って食べることだけが唯一、禁止されていました。その木は園の中央にあり、手の届くものでした。ですから、その実を取って食べるか、食べないかは、すなわち、神の命令に従うか、従わないかの選択です。人間は、自由意志をはたらかせて、すすんで神の命令に従う方を選ばなければなりません。

神はあなたに、無理やり力づくで、命令に従わせるようなことはなさいません。あなたが、誘惑に負けないで、あなたの意思で、神を愛して従う方を選ぶことを望んでおられるのです。そうでなければ、神は、ロボットを作り、必ず従うようにプログラムすればよかったですから。

## □ポイント2 ヘビは悪がしこいやりかたでエバを誘惑しました

サタンはヘビの悪賢い性質を利用して、エバを巧妙に誘惑しています。もし、ヘビが「食べろ、食べろ」と直接的な言い方をしたり、サタンがエバの口に無理やり木の実を押し込もうとしたなら、エバはもっと抵抗したのではないのでしょうか？誘惑は知らないうちに私たちの考えに忍び込んでくるから恐ろしいのです。聖書のみことばを正確におぼえて、そのとおりに守ることが大切です。

- ・直接に命令を受けたアダムではなく、エバを誘惑しています。
- ・「本当に言ったのか？」と問うことによって、過剰な不安を与えています。
- ・エバは神を弁護しようとして、「死ぬといけなから」と微妙な言い換えをしましたが、ヘビはそのスキに「決して死にません」とたたみかけるように言いました。
- ・神が人間を賢くさせないために(神のような立場に立たせることが惜しいから)、その実を食べさせないようにしているかのような言い回しで、神のことばに疑いをもたせました。

📖 誘惑ということばが難しい場合には、「人を迷わせて、人を神からはなれさせようとする」と解説をしましょう。

☆エバはヘビの質問に答えるとき、神が言ったことに少し付け加えたり、変えてしまったりしました。もしエバが、この時、ヘビのペースにはまらず、神のみことばを正確に言い返していたら、どうなっていたでしょうか？考えてみましょう。創世記3:2-3と創世記2:16-17を比較してみましょう。

## □ポイント3 人間には自由に選ぶ意志が与えられています

神に従わないことの方が、楽しく見えてしまうことは、しばしばあります。「神さまに従わなくても死なない、また赦してもらえるから罪を犯しても、ま、イイかあ〜」となることは、誘惑にすっかり乗ってしまった結果です。エバは目の欲、神さまのようになりたいという傲慢に従ってしまいました。またアダムのように、他の人も食べたから、自分もチョットくらいイイかあ〜」となってしまうないように気をつけましょう。

**今までの罪は全部イエスさまが赦して下さいます。これからは、聖霊さまがみことばを思い出させてくださって、みことばの力で誘惑に勝てるようにお祈りしましょう！！いつも神さまを愛して従う方を選択しましょう！！**

## □結論 誘惑に負けないで神様の御言葉に聞き従おう

### □適用 (聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう)

例えば、あなたは、お父さん・お母さんのいうことをききたくないとき、「イエスさまは赦してくれるから、1回くらいいうことを聞かなくても大丈夫さ・・・すぐに地獄に行くわけではないだろう」、という気持ちになったことはありませんか？わたしたちも、エバがヘビにそそのかされたのと同じように、サタンの誘惑に惑わされることがあります。そんな時、神さまのことば・教会で教えてもらったことを正確に思い出して、誘惑に打ち勝ち、何が何でもそのとおりに従いましょう。今までの罪は全部イエスさまが赦して下さいます。みことばの力で誘惑に勝てるようにお祈りしましょう！！